

ハード交付金の活用事業

沖縄県事業

中城湾港（泡瀬地区） （港湾改修事業、緑地等施設整備事業）

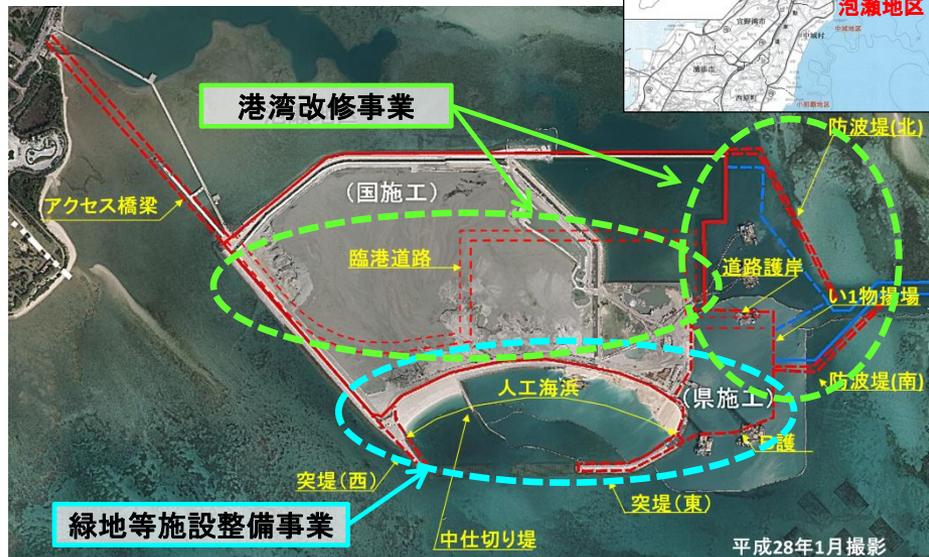
中城湾港（泡瀬地区）埋立事業は、スポーツを中心とした商業や宿泊、海洋レジャーなどを展開するスポーツコンベンション拠点の形成を図るものである。

そのうち、当該事業は、護岸、防波堤、臨港道路、突堤、人工海浜、緑地等を整備するものである。

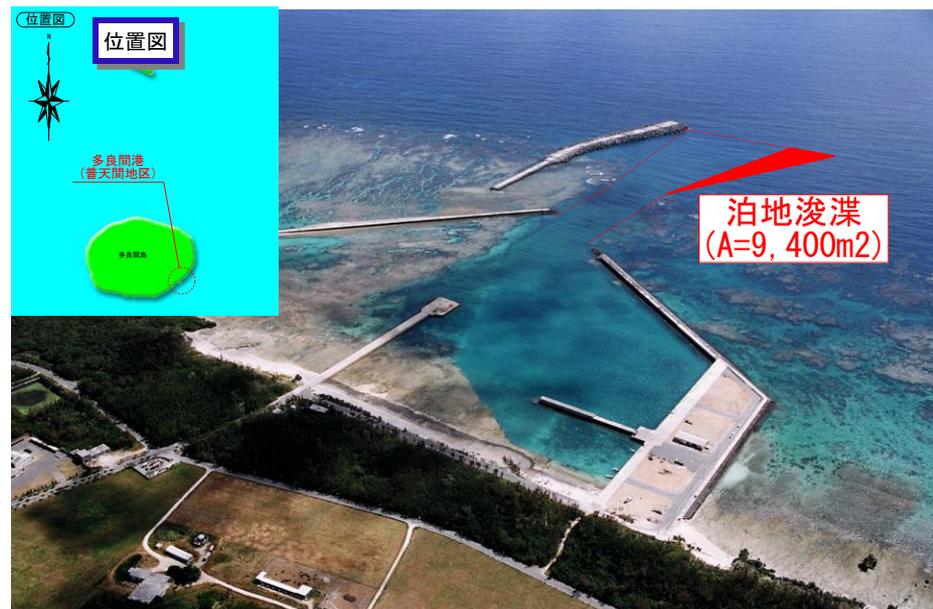
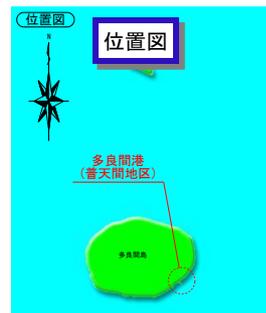
多良間港（普天間地区） （港湾改修事業）

定期船フェリーは平成19年に大型化しているが、航路が狭く風向きによっては防波堤近傍に流される等、難しい操船を余儀なくされており、平成23年には港口部でフェリーがリーフへ接触する事故がある等、船舶の安全性確保に向け早急な対策が必要となっている。

- 総事業費:138億円(うち国費84.2億円)
うち、ハード交付金115.3億円
(うち国費75.1億円)
- 事業期間:平成13年度から平成32年度



- 総事業費 5.0億円（うち国費4.5億円）
- 事業期間：平成26年度から平成30年度



ハード交付金の活用事業

沖縄県事業

長山港（渡口地区） （港湾改修事業）

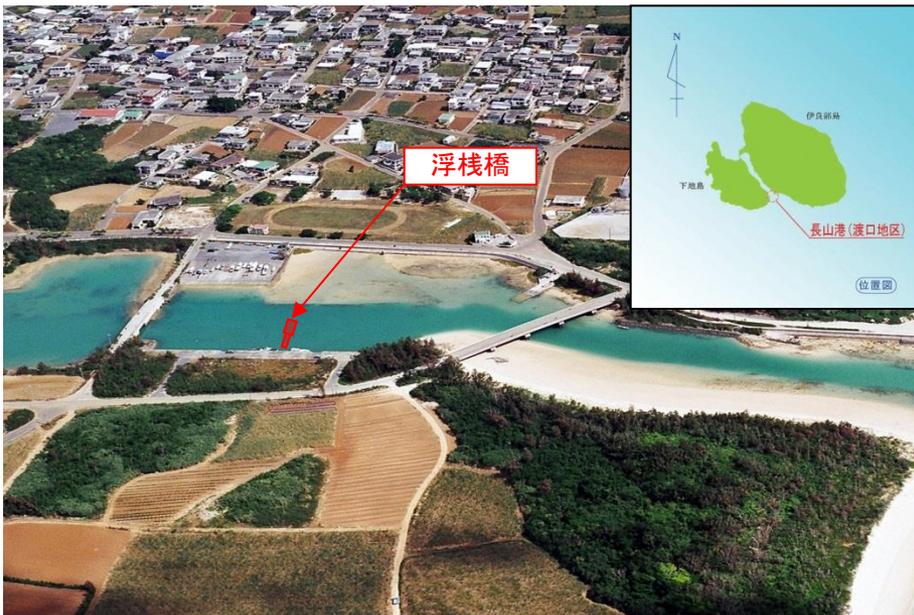
ダイビング利用客や関係者は、延長100mの物揚場から乗降していたが、干潮時等に大きな段差が生じるため、乗降等に支障を来しており、安全性と利便性が確保されていない状況であった。これらの問題を解決し、観光客を含む利用者の安全性と利便性、さらに伊良部島と下地島の観光支援にも寄与する浮棧橋の整備を行った。

- 総事業費 3.4億円（うち国費3.0億円）
- 事業期間：平成24年度から平成25年度

竹富東港 （港湾改修事業）

本港は、石垣港との間に定期旅客船が多数運航しているほか、定期貨客船や地元の小型船等が利用している。島周辺にダイビングスポットが多く、ダイビングや釣りなどを目的とした地元の小型船の利用が多く、船揚場の増設及び泊地浚渫の要望があることから整備を行った。

- 総事業費 2.3億円（うち国費2.0億円）
- 事業期間：平成24年度から平成26年度



ハード交付金の活用事業

市町村事業（南部圏域）

那覇港泊ふ頭屋根付き歩道 （那覇港（泊ふ頭地区）岸壁(-6.0m)・(-4.5m)改良事業）

沖縄本島と沖縄本島周辺の離島を結ぶ船舶の発着する那覇港泊ふ頭において、真夏の炎天下や降雨時の、船舶利用者の快適性・利便性向上を図るため屋根付き歩道の整備を実施した。

- 総事業費 4.7億円（うち国費4.2億円）
- 事業期間：平成26年度から平成28年度



那覇クルーズターミナル （旅客ターミナル整備事業）

沖縄と国内外を結ぶクルーズ船の寄港・就航を促進し、海路による入域観光客数の増加や新たな沖縄観光の魅力向上を図るため、泊ふ頭地区に旅客ターミナルの建設を行った。

- 総事業費 12.2億円（うち国費6.1億円）
うち、ハード交付金11.9億円（うち国費5.95億円）
- 事業期間：平成23年度から平成25年度



ハード交付金の活用事業

市町村事業（宮古圏域）

臨港道路伊良部島線 （臨港道路の整備）

伊良部架橋の開通に伴い、伊良部島～宮古島間の輸送体系が、船舶から陸送へ移行するため、港湾への物流の効果的、安定的な貨物輸送を確保するため臨港道路の整備を行った。

これにより、港湾アクセス機能の強化を行うとともに、にぎわいのある港づくりを図る。

- 総事業費 3.0億円（うち国費2.7億円）
- 事業期間：平成24年度から平成27年度

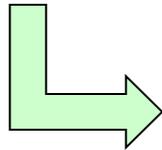
平良港漲水地区シンボル緑地（公園整備）

通常は、市民や旅客船などからの来訪者等が利用するが、災害時には港に運ばれてきた食料、水、医薬品などの緊急物資を集積するとともに、宮古圏域内各地へスムーズに輸送するために仕分け・保管するなど災害機能の役割も担う緑地整備を図る。

- 総事業費 4億円（うち国費2.2億円）
- 事業期間：平成27年度から平成29年度



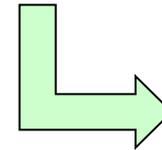
【整備前】



【整備後】



【整備前】



【整備状況】
（平成29年度供用開始予定）

ハード交付金の活用事業

市町村事業（八重山圏域）

新港地区小型船だまり整備 （港湾改修事業）

ビジター艇対応施設、観光船等の小型船係留施設の不足による既存施設の継続的待機状況の解消を目的とし、小型船だまりの整備を行う。

- 総事業費 55億円（うち国費49.5億円）
- 事業期間：平成25年度から平成33年度
- B/C：6.14

新港地区緑地及び人工海浜整備 （緑地等施設整備事業）

海洋性レクリエーション施設の整備により、住民及び観光客の利用促進を図り、親水性のある港湾環境空間の創出を図る。

- 総事業費 30億円（うち国費18億円）
- 事業期間：平成24年度から平成34年度

新港地区イメージ図



緑地及び人工海浜

小型船だまり